

ハムケ兼ル、又ネカシ過テハ弱ナル、其ノ見分ケ肝要ナリ、ムキ取タルイチビヲ、竹ノワリコハシニテ上皮ヲコキステ、水ニテ洗ヒ日ニ干シ、麻ノ代リニ使フ、第一大船ノ錨綱、其外太布モ織、馬道具ニ用テ徳多シ、

〔廣益國產考〕^三苧麻作りやう

苧麻は何國にもあるものにて、作りやうを諸人知るといへども、此琉球表を織には、専らいちびを經に用るによつて、作りやうを爰にしるす也、

四月早麥を刈取たる跡に、麥を蒔やうの地こしらへして、種子を芥の焼灰等にまぶして、麥を蒔やうにして蒔べし、尤壹畝に種子壹合宛に蒔て宜し、然して廐肥しか油糟を施置ば、追々芽を生じ貳三寸になる頃、間三寸ほどづゝに間引仕立、肥しを見合せ施てよし、六月土用すぎる頃は、花咲實登り、丈凡五六尺に伸る也、刈旬は、凡蒔付て九十日めより百日目に刈べし、根よりこぎて土を落し束に結、其上に藁の古きぬれ筵を、透間なくかぶせ、三四日蒸て根の所を爪にてむくり、末まで引はれば、むざうさに末まではげる也、是を竹にかけ干揚て圍ひ置用ふる也、皮の上出來は壹畝に八貫目、中出來は五貫目あるもの也、

落花金錢

〔倭名類聚抄〕^{二十}金錢花 梁簡文帝有金錢花賦金錢俗云百無軟

〔書言字考節用集〕^六午時草生植

〔大和本草〕^七夜落金錢花中

倭俗午時花ト云、又金盞花ヲモ和俗金錢花ト云、同名異物也、午時紅ハ葉ハキイチゴノ葉、又イチビノ葉ニヨク似テサキトガリ、本小ナル極アリ、初生スル時小葉四ニワカル、莖長キハ二尺ニイタル、花ハ七八月ニ開ク、大サ錢ノゴトシ、紅ニシテ内フクラナリ、藥二重アリ、每節枝生ジテ花開ク、午時ニ開キ其夜半ヲツ、故又子午花ト云、寒月ニハ夜花不落シテ晝マデアリ、牽牛花ノゴトシ、